

単元名

ソーランプロジェクトⅡ

本単元で育成を目指す資質・能力

思考力・判断力・表現力

思いやり・感謝・貢献

1 単元について

単元観

阿賀中学校では、約20年前から阿賀中ソーランに取り組んでおり、生徒にとって阿賀中ソーランを踊ることが誇りとなっている。

本単元ではその伝統を継承する活動をとおして、地域への感謝や貢献の気持ちを、相手や意図、目的に応じて表現することができる資質・能力を養うことを目標としている。また、体育大会において地域の方々に阿賀中ソーランを観ていただくため、踊りに込めた思いをポスターにしてアピールしたり、自分たちができる踊りを考え、工夫し表現することで、地域の方々に喜んでいただけるソーラン踊りに仕上げていく。

第2学年が踊る「お漕ぎ船伝説Ⅱ」は、阿賀地区に伝わる「お漕ぎ船伝説」をもとにつくられた踊りで、地域の伝説を継承していく役割も果たしている。そのため、当時の社会的背景や阿賀地区の人々の暮らしなどを調べる活動をとおして、地域を知り、感謝や貢献の気持ちを一層強くしていく単元となっている。

生徒観

令和元年度広島県「基礎・基本」定着状況調査の〔生徒質問紙〕の〔生活と学習に関する調査〕において「自分の住んでいる地域のが好きです」の質問に対する肯定的評価の割合は68.9%であった。

また、1学期末に実施した学校生活アンケートの第2学年の結果において「自分は家族や地域の人に貢献することができた」に対する肯定的評価の割合は67.6%であった（全体では74.9%）。

以上の結果より、地域のが好きで、貢献したいと考えている生徒が約7割いるのに対して、残りの3割の生徒は、あまり地域に貢献できていないと感じている。

そのような生徒の「思いやり・感謝・貢献」の資質・能力を育成することを目的として、本単元ではソーランプロジェクトの活動を地域への感謝や貢献の気持ちを積極的に発信することができる場の一つと位置付け、地域の方々と積極的に交流することで、生徒一人一人が地域の一員としての自覚を高めていく必要があると考える。

指導観

【生徒指導の三機能との関連】

「共感的人間関係を育成する」機能を生かして、各自が自分の考えを表現できる場面や時間を十分に確保し、他の生徒と考えを共有し、それを互いに認め合うことができる活動を仕組んでいく。また、ソーラン踊りの工夫においては、共有した内容の比較、整理、分析により「お漕ぎ船伝説Ⅱ」を洗練させていきたい。

【資質・能力の育成】

本単元では、「思いやり・感謝・貢献」のうち、特に「感謝・貢献」を育てることを重視して単元の指導を構成している。第1学年ではソーランプロジェクトⅠの単元で「家族への貢献」をテーマに、家族に喜んでもらうための工夫を考え、それをソーラン踊りで表現することに取り組んだ。

第2学年ではソーランプロジェクトⅡの単元で「地域への感謝・貢献」をテーマに、阿賀地区の伝統や伝説を調べることで地域への理解を深め、地域や先人への感謝の気持ちを深め、それを「お漕ぎ船伝説Ⅱ」の踊りの中で工夫、表現していく。

【阿賀中学校区研究主題との関連】

阿賀中学校区カリキュラムマップで育成を目指す資質・能力の具体の姿にも挙げている後期の目標「複数の事柄や資料などを関連付け、多面的・多角的に考察して、根拠を持って表現することができる」や「自他を尊重し、多面的に物事をとらえ、協力して課題解決を図ろうとしている」、「感謝の気持ちを持ち、思いやりのある行動や責任感のある態度で、地域・社会に貢献している」を、「地域への感謝・貢献」をテーマとしたソーランプロジェクトⅡの活動をとおして、感謝や貢献の気持ちをソーラン踊りの中で工夫、表現させることに重点を置き育成を図っていきたい。

2 本単元において育成しようとする資質・能力

本単元においては以下の資質・能力の育成を図る。

① 【思考力・判断力・表現力】

複数の事柄や資料などを関連付け、多面的・多角的に考察して、根拠を持って表現することができる。

② 【思いやり・感謝・貢献】

ア 自他を尊重し、多面的に物事をとらえ、協力して課題解決を図ろうとしている。

イ 感謝の心を持ち、思いやりのある行動や責任感のある態度で、地域・社会に貢献している。

3 単元の目標

- ・阿賀地区に伝わる「お漕ぎ船伝説」を教材として地域の伝統や誇りについて考えるなかで、様々な情報を収集し、相手や意図、目的に応じて表現することができる資質・能力を養う。
- ・「お漕ぎ船伝説Ⅱ」の踊りを工夫する活動をとおして、感謝の気持ちや地域への貢献を阿賀中ソーランの踊りに込めて伝えることができる。

4 指導計画（全21時間）

次	時	学 習 内 容	育成したい 資質・能力	評 価
				○評価規準（評価方法）
一	1	課題の設定 ・阿賀地区に伝わる「お漕ぎ船伝説」について調べ、地域の伝統や誇りについて考えてみよう。	②イ	・地域の伝統や誇りについて、興味や関心をもつことができる。 （行動観察・ワークシート） ・情報を収集し、「お漕ぎ船伝説」について積極的に調べている。（行動観察・ワークシート） ・調べたことを根拠として、分かりやすく発表している。（発表）
	2	情報収集・探究 ・図書やインターネットなどを活用し、阿賀地区に伝わる「お漕ぎ船伝説」について調べよう。	①	
	1	整理・分析 ・「お漕ぎ船伝説」について調べたことを発表しよう。	①	
二	1	課題の設定 ・沢山の地域の方々に踊りを観てもらうために、「お漕ぎ船伝説Ⅱ」に込められた思いをポスターにしよう。	②イ	・地域への感謝や貢献の気持ちを、積極的に表現しようとしている。（行動観察・ワークシート） ・積極的に情報を収集し、「お漕ぎ船伝説Ⅱ」について調べている。 （行動観察・ワークシート） ・調べた内容を関連付け、ポスターの構図を考えている。（ワークシート） ・地域への感謝・貢献の気持ちを、表現しようとしている。（ポスター） ・ポスターを掲示することで、地域への感謝・貢献の気持ちを伝えている。（活動・感想）
	2	情報収集・探究 ・「お漕ぎ船伝説Ⅱ」の踊りがつくられた背景とそれに込められた思いを調べよう。	①	
	1	整理・分析 ・調べた内容をまとめ、ポスター作成のための準備をしよう。	①	
	2	創造・表現 ・「お漕ぎ船伝説Ⅱ」のポスターを作成しよう。	②ア	
	1	実行 ・体育大会の案内をするために、町内にポスターを掲示させてもらおう。	②イ	

三	課題の設定	1	・地域の方々へ感謝の思いを伝えるために、「お漕ぎ船伝説Ⅱ」の踊りを工夫しよう。	②イ	・地域への感謝の思いを伝えるために、積極的に踊りの工夫をしようとしている。(行動観察・ワークシート)
	情報収集・探究	1	・歴代の先輩方の踊りを鑑賞(ビデオ)し、工夫や改善点を見つけよう。	①	・「お漕ぎ船伝説Ⅱ」の踊りを視聴し、工夫や改善について考えている。(行動観察・ワークシート)
	整理・分析	3	・踊りの中で工夫できることを整理し、取り入れることができる工夫を決定しよう。 (本時2/3)	②ア	・工夫・改善できることを、多面的にとらえ、協力して踊りをつくり上げようとしている。(ワークシート・発表)
	創造・表現	3	・決定した工夫を取り入れ、踊りの練習をしよう。	②ア	・みんなで考えた工夫や改善点を、積極的に踊りに取り入れ表現しようとしている。(活動)
	実行	1	・「お漕ぎ船伝説Ⅱ」を披露しよう。 ※来校された方にアンケートをお願いし、回収する。	①	・地域の方々に喜んでいただくために、精一杯(気持ちを込めて)踊っている。(活動)
	振り返り	1	・回収したアンケートから課題を見つけ、次年度の活動につなげよう。	②イ	・後輩のために、次年度につながる課題を考えている。(行動観察・ワークシート)

5 本時の展開 (本時 15/21 時間)

(1) 本時の目標

- 先輩方が踊ってこられた阿賀中ソーラン(「お漕ぎ船伝説Ⅱ」)のビデオを観て、地域の方々に喜んでいただくために、自分たちができる踊りの工夫について考えることができる。

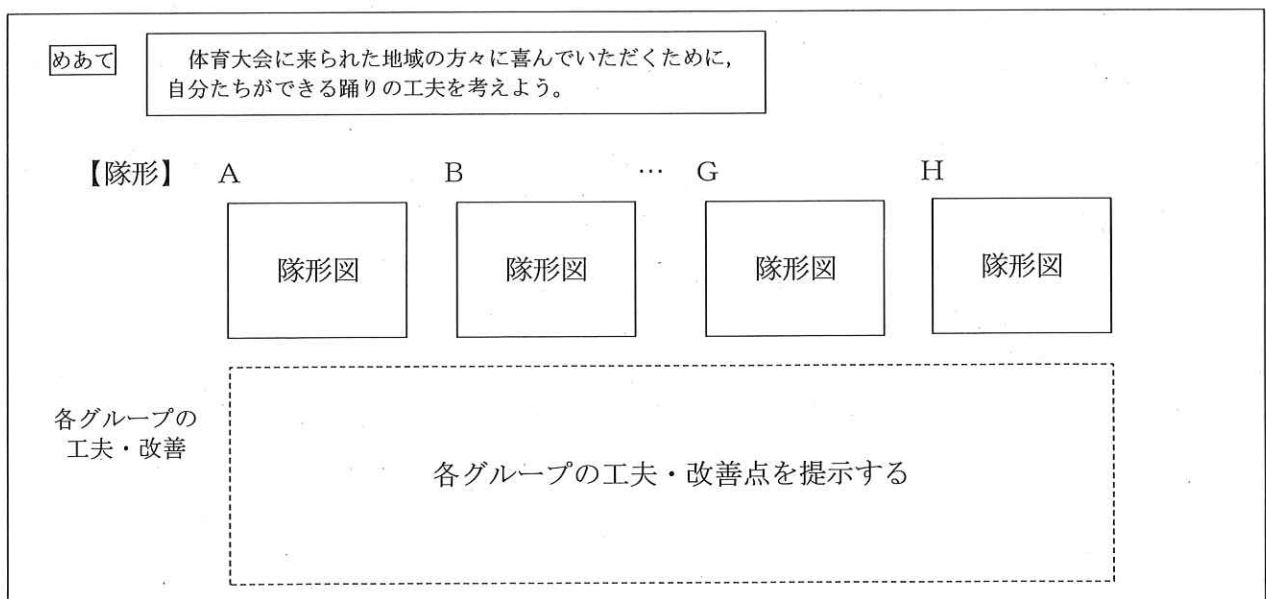
【資質・能力/思いやり・感謝・貢献】

(2) 本時の展開

	学習活動	○指導上の留意点 ☆生徒指導の三機能につながる手立て ◆「支援を要する」生徒への手立て	○具体的評価規準 (評価方法)
出会う・つかむ	1 課題意識を持つ。	○先輩方の踊り(ビデオ)を再度視聴し、踊りの流れを隊形図と比較しながら確認する。	
	2 本時のめあてを確認する。		
<p>体育大会に来られた地域の方々に喜んでいただくために、自分たちができる踊りの工夫を考えよう。</p>			

<p>考える・深める</p>	<p>3 前時に各自で考えた工夫のポイントを、グループで交流する。 <u>グループ交流</u></p>	<p>○ ワークシート（隊形図）をもとに、個人で考えた工夫のポイントを具体的に交流させる。</p> <p>◆ 役割分担を明確にし、全員が交流に参加できるようにする。</p>	
<p>【共感的人間関係を育成する】 ☆ワークシートに具体的に記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が考えなかったアイデアがあった。 ・みんなが考えていた工夫に共通点があった。 		<p>4 各グループで交流した工夫のポイントをまとめ、発表の準備する。</p> <p>○ 隊形ごとに工夫したポイントを、発表用のシートに記入させる。</p> <p>5 隊形ごとに工夫したポイントを、踊りの流れ（隊形）にそって説明をする。 <u>全体交流</u></p> <p>○ 各グループの共通点や相違点がはっきりするように、発表用のシートを踊りの流れにそって提示させる。</p>	<p>○ 工夫・改善できることを、多面的にとらえ、協力して踊りをつくり上げようとしている。（ワークシート・発表）</p>
<p>振り返る</p>	<p>6 本時のまとめをする。</p> <p>7 振り返る。</p>	<p>○ 次時は各グループの工夫をまとめ、クラスで取り組める踊りの工夫を決定することを伝える。</p> <p>○ 本時の取組を自己評価させ、ワークシートに記入させる。</p>	

6 板書計画



7 成果（○）と課題（●）

※育成を目指す資質・能力・・・【思考力・判断力・表現力】【思いやり・感謝・貢献】

- 従来の阿賀中ソーラン踊りをそのまま継承するだけでなく、それらがつくられた背景を複数の事柄や資料などを調べたり、多面的・多角的に考察したりする活動をとおして、自分達が実際に取り組んでいるソーラン踊りに対して、根拠を持って表現しようとする意欲につなげることができた。
- 地域を知り、地域の伝統を継承していく自覚を高めることで、地域の方々への感謝や貢献の気持ちを持って、工夫・改善を加えたソーラン踊りに取り組もうとする姿勢が多くの生徒に見られた。
- ソーランプロジェクトは中学3年間をとおして全生徒で系統的に行っている活動である。しかし、ソーラン踊りの披露が5月上旬の体育大会であるため、入学して間もない1年生に短期間でプロジェクトの内容や目的等を理解させたり、意識を十分に高めて表現させたりするための時間の確保が難しい。資質・能力の育成を図るための指導内容を十分に精選したり、小中一貫教育の活動として小学校第6学年にソーランプロジェクトの事前学習を位置付けたり、小学校との連携を密にして、目指す資質・能力の育成を図る必要がある。

研究主題 「主体的に学び、ともに伸びようとする児童生徒の育成」
 ～生徒指導の三機能を生かした授業づくり、生活づくりを通して～
 めざす子ども像 主体的に学び、ともに伸びようとする児童生徒

阿賀中学校区で育成を目指す資質・能力 知識・技能 思考力・判断力・表現力 自らへの自信 思いやり・感謝・貢献

		教科等	総合的な学習の時間・生活科	特別活動・小中一貫の取組	独自の取組
後期	中3	2乗に比例する関数(数) 持続可能な社会をつくるために(理) どこに行って何をしよう(英) 土曜日の朝に(道)	社会への貢献 阿賀中ソーランプロジェクトⅢ 平和へ貢献したいという願いを表現 生き方学習Ⅲ・卒業論文 夢・自分探し 自己アピール 未来へ向けて卒業論文	ソーランプロジェクト 講習会及びアガデミア文化発表会の運営 阿賀小運動会への参加 阿賀中文化発表会 阿賀小児童への陸上講習会	生徒会企画ボランティア (エコキャップ回収・プルタブ回収・朝の清掃活動他) 生徒朝のあいさつ運動・登下校時校門一礼 毎日ノートの取組 阿賀中スタンダード認定システム
	中2	根拠を明確にして書こう(国) 身近な地域の調査(社) 図形の性質の調べ方(数) 好きな国のエッセイを小学生に紹介しよう(英) 加山さんの願い(道)	地域への貢献 阿賀中ソーランプロジェクトⅡ 地域の伝統や誇りについて考える 生き方学習Ⅱ 職場体験学習 地域への貢献について考える		
中期	中1	歴史の物差し(国) 資料の活用(数) 身のまわりの物質(理) 曲にふさわしい表現を合唱で追求しよう(音) 夜のくだもの屋(道)	家族への貢献 阿賀中ソーランプロジェクトⅠ 家族について考え喜んでもらう 生き方学習Ⅰ 職業調べ 家族・学校への貢献について考える	クリーンアップサ阿賀(アガデミア)	敬老の日に 手紙を書こう 稲配り
	小6	感動の中心をとらえよう(国) 立体の体積(算) 心に通じた「どうぞ」のひとつ(道)	地域・家族への感謝 受けつごう・伝えよう地域の宝 地域の伝統やそれを継承している人々の思いを知り、自分たちができることを考える		
前期	小5	円と多角形(算) お兄さんやお姉さんを自慢しよう!(外) くずれ落ちたダンボール箱(道)	地域・家族への感謝 感謝を表そう もちつき大会に参加する地域の方々のために自分たちができることを考える	学習発表会・音楽鑑賞会(中学生による合唱) 阿賀小運動会 もちつき大会	自主学習の取組 A J V ・ オアシス隊
	小4	感想を伝え合おう(国) ほしいものは何かな(外) ある日のスーパーで(道) ポロといっしょ(道)	地域とのつながり 友達の輪を広げよう 障害のある人々の願いや思いを知り、自分たちができることについて考える		
前期	小3	三角形(算) かわってきた人々のくらし(社) 一さつのおくりもの(道)	地域とのつながり あが町のじまん あが地域で学ぶ人々・働く人々の思いや願いについて考える	アガデミア文化発表会	呉南特別支援 学校との交流 フラワーロード 招待給食をしよう
	小2	声やうごきであらわそう(国) ようずをおもいうかべよう(音) くまんのたからもの(道)	地域とのつながり まちたんけん 自分の町に関心をもつ		
	小1	おはなしをよもう(国) かたちづくり(算) ぼくのはなさいたけど(道)	地域とのつながり がっこうたんけん 自分の学校に関心をもつ		

阿賀中学校区で育成を目指す資質・能力の具体の姿

資質・能力の3つの柱	何を知っているか、何ができるか 「知識および技能」	知っていること・できることをどう使うか 「思考力、判断力、表現力等」	どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか 「学びに向かう力、人間性等」	
資質・能力	知識・技能	思考力・判断力・表現力	自らへの自信	思いやり・感謝・貢献
後期 中3～中2	各教科等に関する個別の知識や技能を、それぞれの学年で確実に身に付けている。	複数の事柄や資料などを関連付け、多面的・多角的に考察して、根拠をもって表現することができる。	目標に向かって、主体的に取り組む、自らを向上させようとしている。仲間と活動する中で、互いに認め合いながら成功体験を積み重ね、自信をもってより高い目標に挑戦している。	自他を尊重し、多面的に物事をとらえ、協力して課題解決を図ろうとしている。感謝の心をもち、思いやりのある行動や責任感のある態度で、地域・社会に貢献している。
中期 中1～小5		複数の事柄や資料などを関連付け、思考・判断したことを整理したり再構成したりして、目的に応じて分かりやすく表現することができる。	目標に向かって、自分を向上させようとしている。仲間と認め合いながら、様々な活動を通して、自信をもち、将来の夢に向かって努力している。	他者との関わり方を考え、自分の考えを広げようとしている。感謝の心をもち、思いやりのある行動で、仲間や家族に貢献している。
前期 小4～小1		身の周りの複数の事柄や資料について、気付いたことを基に比べたり例えたりして、順序よく表現することができる。	自分のよさや可能性を生かして、意欲と自信をもって取り組んでいる。	相手のことを思いやり、すすんで親切にしている。